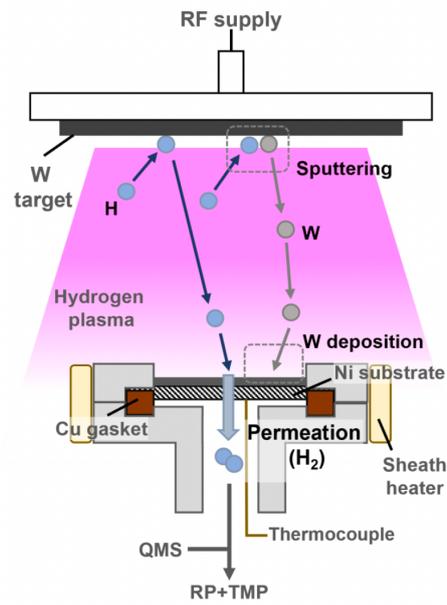


プラズマ・核融合学会誌

第102巻第2号

2026年2月

解説	フュージョンエネルギー・イノベーション戦略 ～国家戦略を踏まえた最近の取組と国内外の動向～ …………… 馬場大輔, 梶谷秀樹	51
講座	ニューラルネットワークを用いた物理モデリング・シミュレーション 1. はじめに …………… 谷口隆晴	57
	2. 物理法則を組み込んだニューラルネットワーク …………… 今寺賢志	60
研究論文	フュージョンは新産業と地域経済を駆動するか? : 核融合発電プラント事業の経済効果 …………… 岩本みさ, カーなおみ, 久米祥文, 馬奈木俊介, 武田秀太郎	65
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト	……………	74
インフォメーション	……………	76
	幅広いアプローチ活動だより (119) 【会議報告】 30th IAEA Fusion Energy Conference (FEC2025) 第14回アジアプラズマ・核融合学会 (APFA2025) 及び第2回三次元磁気閉じ込めフュージョンの多様性に係る NIFS ワークショップ合同会合 【人事公募】	
本会記事	……………	84
	第16回核融合エネルギー連合講演会 -2030年代発電実証に向けて- 開催案内 国際会議参加に関わる若手研究者支援募集案内	
編集後記		



表紙の絵

核融合炉のプラズマ対向壁表面近傍で生じる水素とスパッタされたタンゲステン(W)の共堆積環境を模擬した実験体系図である。高周波水素プラズマによりWターゲットから粒子を叩き出し、基板の上にWを堆積させつつ、同時にW堆積層および基板を透過した水素を四重極質量分析計(QMS)で計測する。W堆積過程と水素透過を同一系内で動的に測定し、共堆積層形成時の水素透過挙動の評価を可能にする。(Kentarō MASUTA, Kazunari KATAYAMA, Plasma and Fusion Research, Vol. 20, 1405054 (2025) <https://www.jspf.or.jp/>)

【複写をされる方へ】本学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けてください。但し、企業等法人による社内利用目的複写については、当該企業等法人が公益社団法人日本複製権センター(社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はありません(社外頒布用の複写については許諾が必要です)。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052東京都港区赤坂9-6-41乃木坂ビル2F

複写以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託しておりません。直接当学会へお問い合わせください。